

大腿骨骨折は、高齢者の 3 大骨折のうちのひとつです。

手術までの待期期間や術後の離床に時間がかかってしまうと、自立生活への復帰が遅れるだけでなく、ADL（日常生活動作）や筋力・免疫の低下を招き、寝たきりや認知症のきっかけになることもあります。

当院では、緊急性の高い大腿骨近位部骨折に関して手術療法を要する場合、身体機能・認知機能の低下を予防するために迅速な検査後、搬送されてから 48 時間以内の治療開始を目指しています。

2024 年

大腿骨近位部骨折 48 時間以内手術実績

25 件



整形外科